

服装の変化要因に関する研究

○ 李 蘭 姫 (文化女大・院)

目的：服装は、人間の社会的行為と直接的に関連するもっとも大切な部分であり、社会変動と文化変容との関連で生み出されるものである。社会の動きの影響を無視することはできない。社会環境の変化によって人々の意識や心理傾向が変化すると、それは服装に現れる。服装は、着装するひとの意識やライフスタイルによって異なるものであることを前提にすれば、服装の変化を人間の意識の流動性と社会環境の変動を結びつけて考える必要がある。ここで社会環境の変化は社会構造の変化にともなう変動することに注目して、それを社会学的背景に基づき、分析するとともに現代社会における服装の変化において社会環境との密接な関係を究明してみることを目的とした。

方法：主に文献資料を中心とした社会学理論、つまり社会変動論の視点にたって現代社会の服装の変化要因を分析し、その要因間の相互関係を考えてみる。それを実証的に分析するために洋書、新聞、情報誌などを参考した。

結果：服装の歴史と各時代の社会的出来事を調べると、服装の変化はその時代の社会に変化が起きた時と一致していることが明かとなる。その社会変化は社会構造の変動によるもので、人間の取り巻く社会環境、つまり経済、政治、社会、文化に変化が起き、人間の意識と生活様式を変化させ、それが服装の変化をもたらす大きな要因となった。